

2017年4月12日

# SSC-梁貫通孔設置範囲 for ARCHICAD20

## リリースのご案内

株式会社ソフトウェアセンター

### 梁貫通孔設置可能範囲自動表示ツール

「SSC-梁貫通孔設置範囲 for ARCHICAD 20」をリリースいたします。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

「GRAPHISOFT ARCHICAD」のバージョンアップに伴い、「ARCHICAD20」に対応した『SSC-梁貫通孔設置範囲 for ARCHICAD20』をリリースいたします。『SSC-梁貫通孔設置範囲』は、構造躯体情報を元に、梁貫通孔設置可能範囲、及び、設置不可範囲を自動で表示するプログラムです。

### ■ 機能の追加（ARCHICAD19 版 Revision3 から追加された機能）

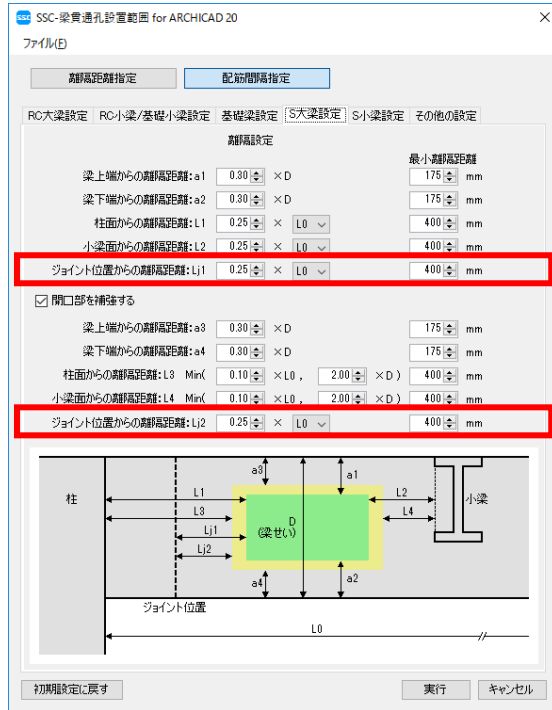
#### 1. RC 大梁／基礎梁設定に、『配筋間隔指定』を追加

『配筋間隔指定』を選択した場合、鉛直方向の貫通孔設置可能範囲を「鉄筋間隔」と「鉄筋からの距離」で指定できるようになりました。



## 2. S大梁設定に、『ジョイント位置からの離隔距離』設定を追加

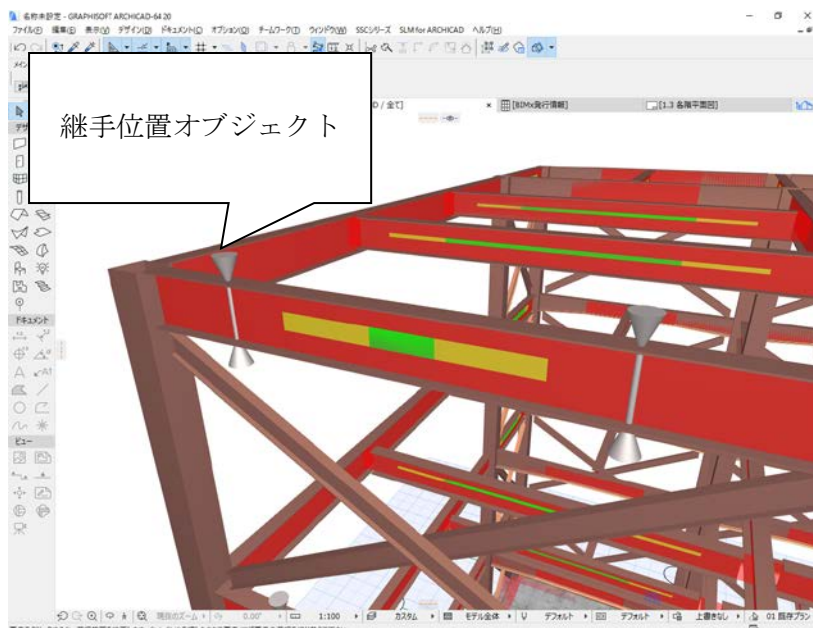
ジョイントがある場合、「ジョイント位置からの離隔距離」と「柱面からの離隔距離」の両方を満たす領域を貫通孔設置可能範囲とします。



## 3. 『継手位置設定コマンド』を新設

「継手位置」としたい場所に線分ツールを配置し、S 梁を選択してコマンドを実行すると S 梁上に『継手位置オブジェクト』が生成されます。

この『継手位置オブジェクト』から「ジョイント位置からの離隔距離」を満たすように貫通孔設置可能範囲を生成します。



■ **リリース時期**

2017年5月頃の予定です。

ご不明な点がございましたら、当センターまでお問い合わせください。  
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

● **このリリースに関するお問い合わせは下記までお願いいたします。**

株式会社ソフトウェアセンター

Tel : 03-3866-2095

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-6-2 大和ビル6階

ホームページ : <http://www.scinc.co.jp/>